情報公開文書

2022 年 12 月 27 日作成

Ver.2.0

急性期脳卒中患者における誤嚥性肺炎の発症と歯科の介入についての観察研究

1、研究の目的と意義

医科と歯科が一緒になって医療を行うチーム医療が推進されています。2018 年の診療報酬改定によって、脳卒中で手術を受けた患者さんを「周術期等口腔機能管理」の対象にすることができるようになりました。ところが、脳卒中患者さんの 2 割程度が手術を受けるのでほとんどの患者さんが「周術期等口腔機能管理」の対象になりません。

脳卒中患者さんに対する大学病院の役割は超急性期から急性期における高度の治療であり、その時期の歯科管理の目的は、誤嚥性肺炎予防と歯科疾患が及ぼす合併症の予防であることが報告されました（櫻井薫ら、老年歯科医学、2020 年）。

我々は、手術の有無に関わらず誤嚥性肺炎は発症し歯科が関わる必要があるのではないか考えています。そのため、過去に脳卒中で長崎大学病院に入院した患者さんを対象にして誤嚥性肺炎の発症の状況と歯科診療の内容について調査を行うことを目的としています。その結果、脳卒中で治療を受ける患者さんの歯科医療制度の見直し検討する資料になり得ると考えています。

2、対象となる患者さん

2020 年 8 月 1 日から 2022 年 7 月 31 日までに長崎大学病院の脳卒中ケアユニット（SCU）に入院した患者さんが対象になります。

3、研究の方法

2020 年 8 月 1 日から 2022 年 7 月 31 日までに長崎大学病院の脳卒中ケアユニット（SCU）に入院した患者さんを対象に、誤嚥性肺炎の発症割合とその発症に関わる要因を統計解析で検討します。さらに歯科診療の内容についても調査を行います。統計解析に必要なデータは、すべてカルテから抽出されます。

4、研究に用いる情報

利用するカルテ情報：脳卒中の診断名と重症度、既往歴、脳卒中の治療方法、誤嚥性肺炎の発症の有り無し、嚥下機能検査結果、転帰と転帰日、入院中の歯科診療の内容

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2023 年 12 月 31 日

6、外部への情報の提供：被験者データとして公的データベース・公的バンクへ寄託すること

を予定しています。その場合、データベースの情報は匿名化され個人が特定できないようにします。

7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。
≪研究責任者≫　長崎大学病院　口腔管理センター　川下由美子

8.お問い合わせ先

長崎大学病院　口腔管理センター　川下由美子（研究責任者）
〒852－8501　長崎市坂本１丁目７番１号
電話：095（819）７６６３　　FAX　095（819）７６６５

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）
苦情相談窓口：医療安全課　095（819）7616
受付時間　　：月～金　　９：00～17：00（祝・祭日を除く）